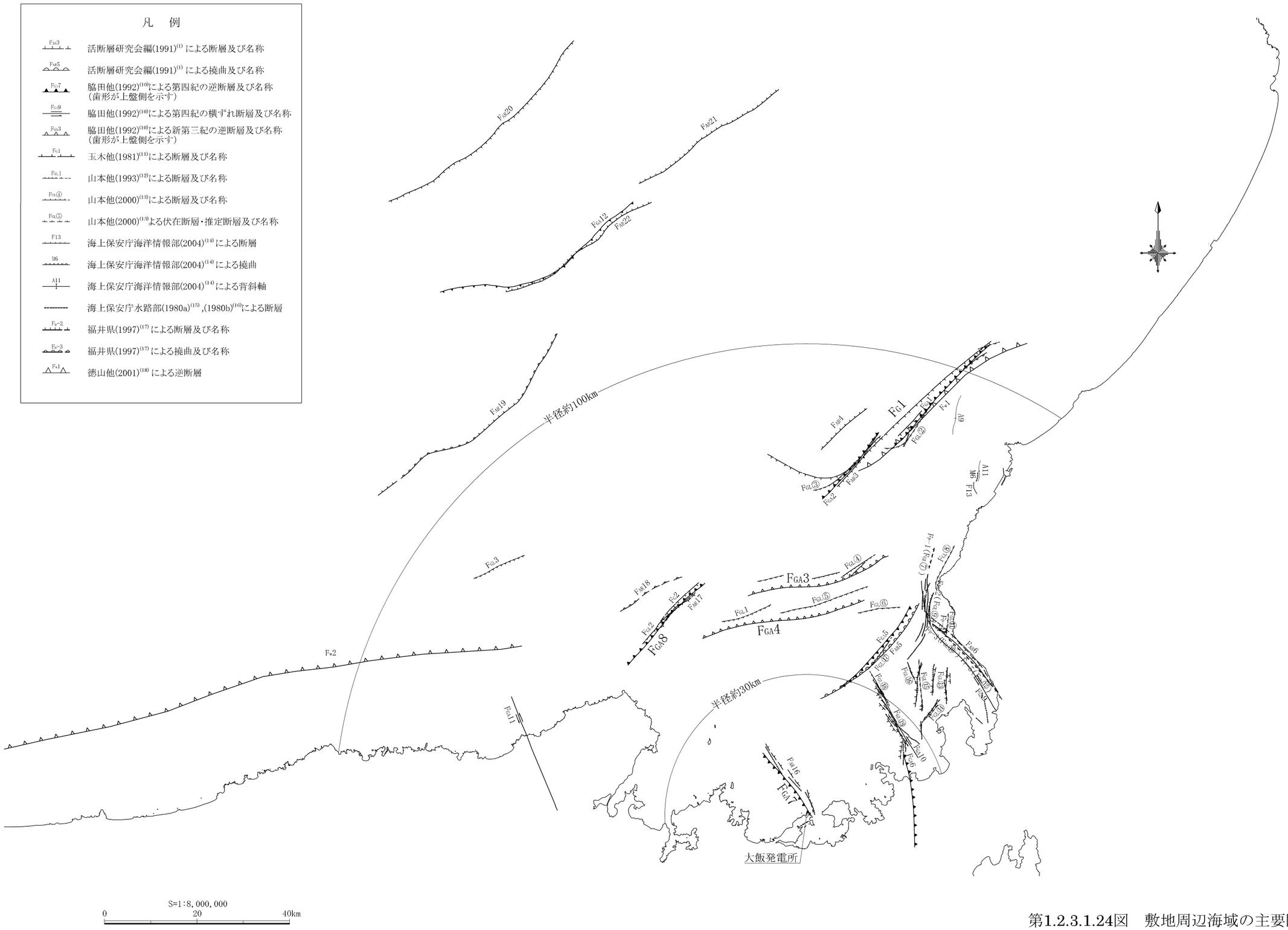
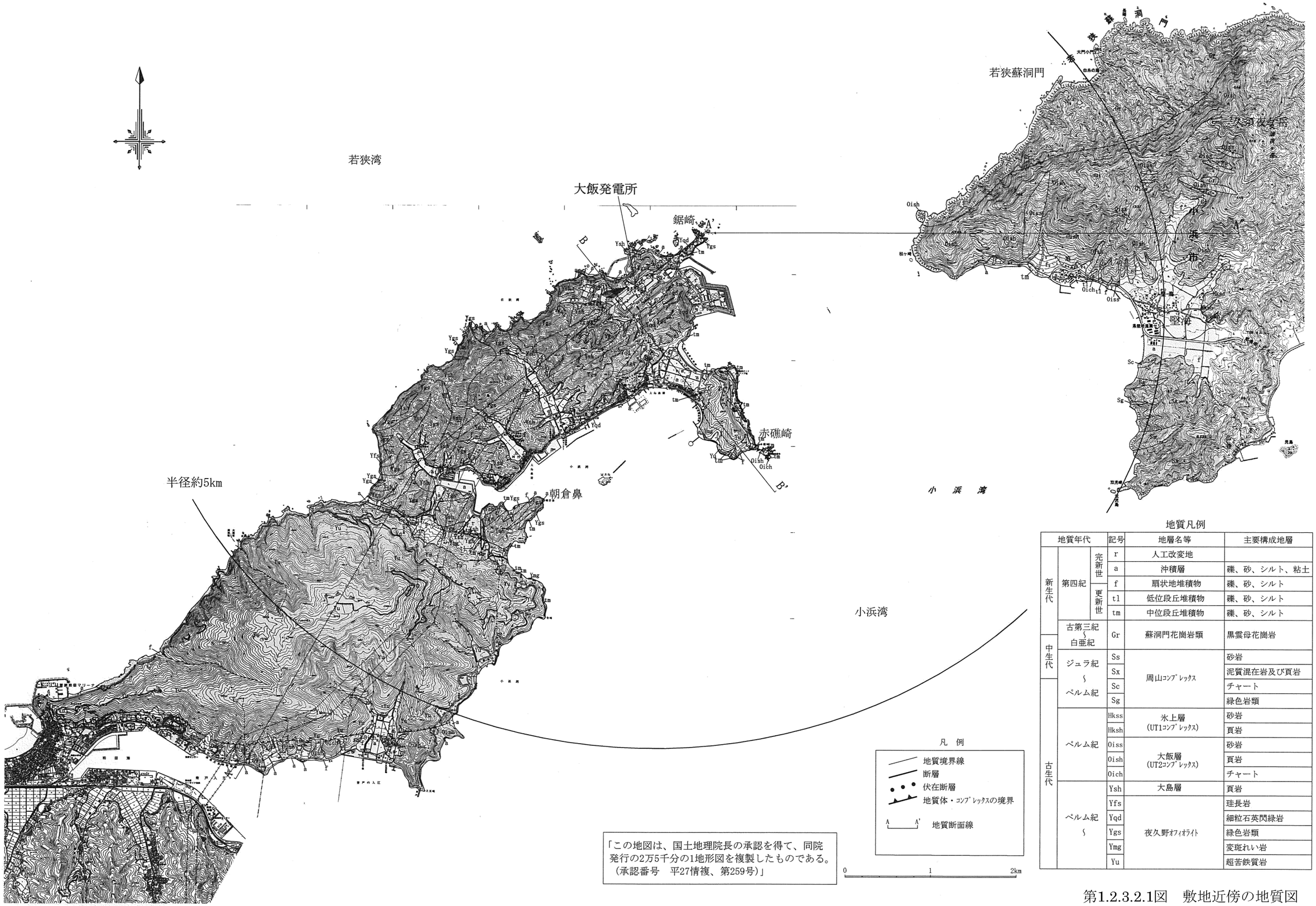


第1.2.3.1.24図　敷地周辺海域の主要断層分布図

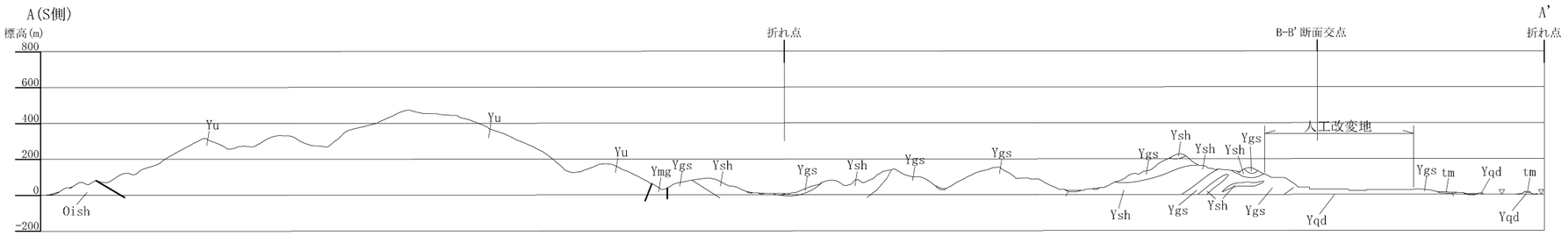


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号　平27情複、第259号）」

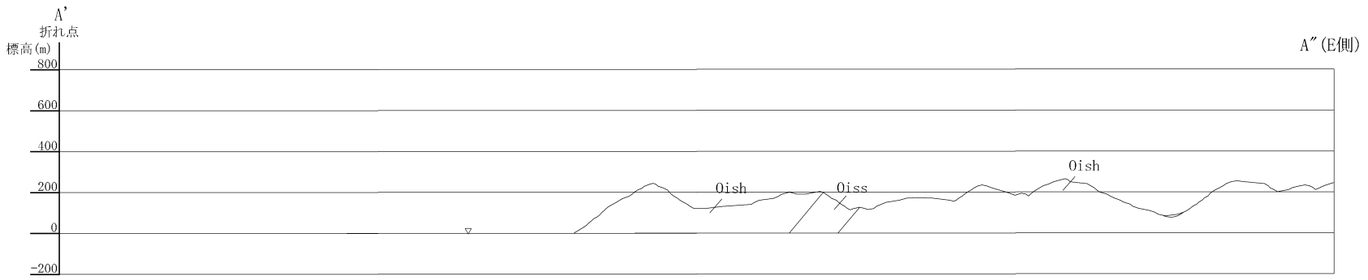
地質凡例

地質年代			記号	地層名等	主要構成地層
新生代	第四紀	完新世	r	人工改変地	
			a	沖積層	礫、砂、シルト、粘土
			f	扇状地堆積物	礫、砂、シルト
		更新世	tl	低位段丘堆積物	礫、砂、シルト
			tm	中位段丘堆積物	礫、砂、シルト
	古第三紀～白亜紀		Gr	蘇洞門花崗岩類	黒雲母花崗岩
中生代	ジュラ紀～ペルム紀		Ss	周山ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ	砂岩
			Sx		泥質混在岩及び頁岩
			Sc		チャート
			Sg		緑色岩類
古生代	ペルム紀		Hkss	氷上層（UT1ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ）	砂岩
			Hksh		頁岩
			Oiss	大飯層（UT2ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ）	砂岩
			Oish		頁岩
			Oich		チャート
	ペルム紀～		Ysh	大島層	頁岩
			Yfs	夜久野ｵﾌｨｵﾗｲﾄ	珪長岩
			Yqd		細粒石英閃緑岩
			Ygs		緑色岩類
			Ymg		変斑れい岩
			Yu		超苦鉄質岩

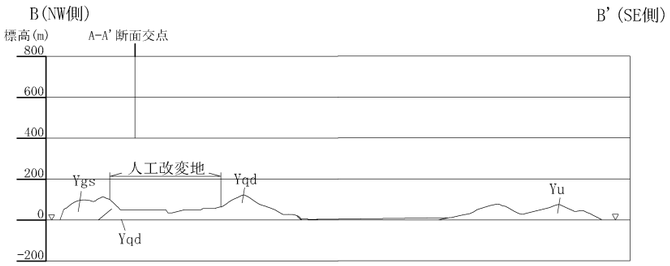
第1.2.3.2.1図　敷地近傍の地質図



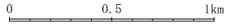
大飯 A-A'断面



大飯A'-A"断面



大飯 B-B'断面



地質凡例

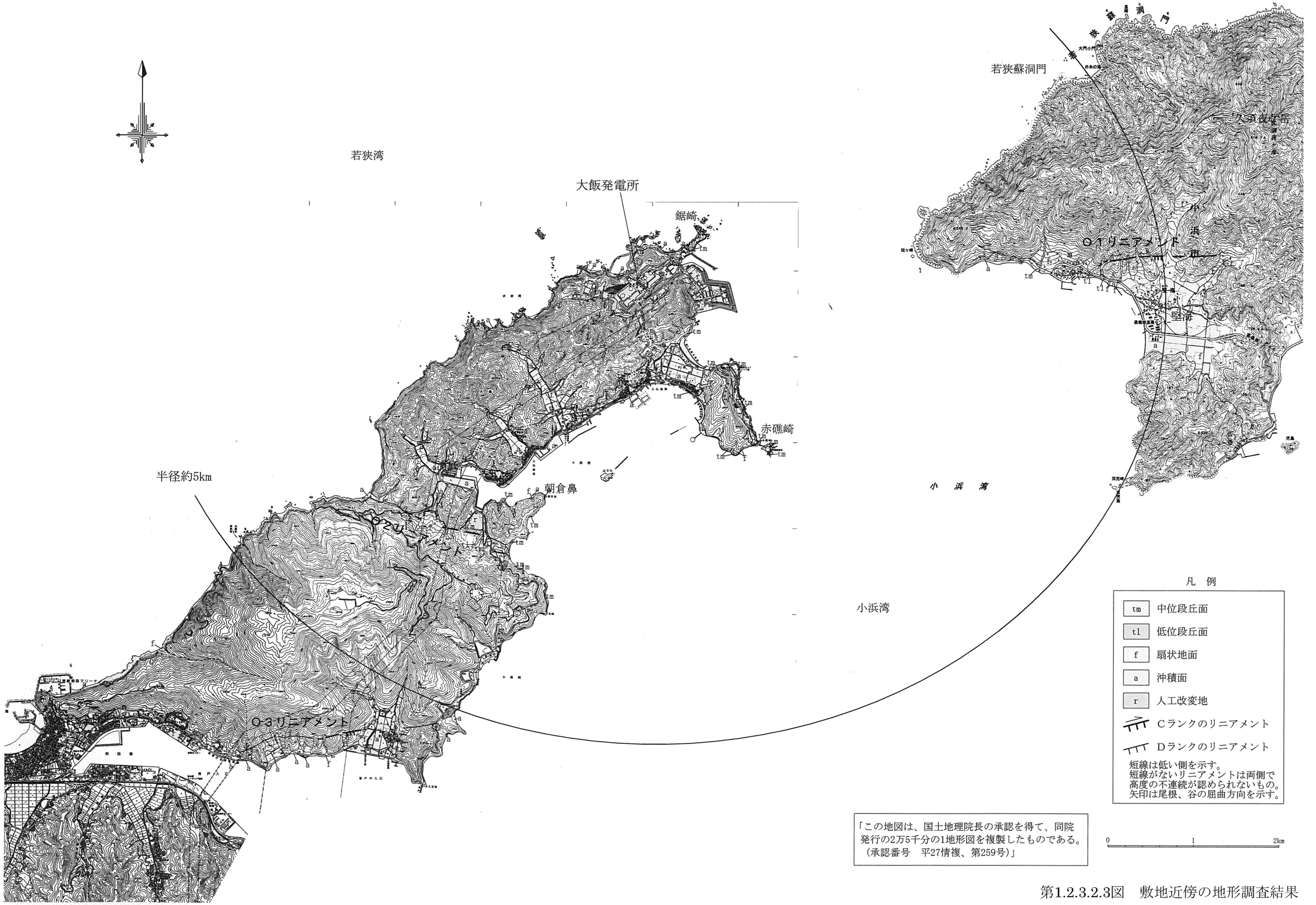
地質年代			記号	地層名等	主要構成地層
新生代	第四紀	完新世	r	人工改変地	
			a	沖積層	礫、砂、シルト、粘土
			f	扇状地堆積物	礫、砂、シルト
		更新世	tl	低位段丘堆積物	礫、砂、シルト
			tm	中位段丘堆積物	礫、砂、シルト
	古第三紀～白亜紀		Gr	蘇洞門花崗岩類	黒雲母花崗岩
中生代	ジュラ紀～ペルム紀		Ss	周山ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ(T1)	砂岩
			Sx		泥質混在岩及び頁岩
			Sc		チャート
			Sg		緑色岩類
古生代	ペルム紀		Hkss	氷上層(UT1ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ)	砂岩
			Hksh		頁岩
			Oiss	大飯層(UT2ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ)	砂岩
			Oish		頁岩
			Oich		チャート
	ペルム紀～		Ysh	大島層	頁岩
			Yfs	夜久野ｵﾌｨｵﾗｲﾄ	珪長岩
			Yqd		細粒石英閃緑岩
			Ygs		緑色岩類
			Ymg		変斑れい岩
			Yu		超苦鉄質岩

地質境界

断　層

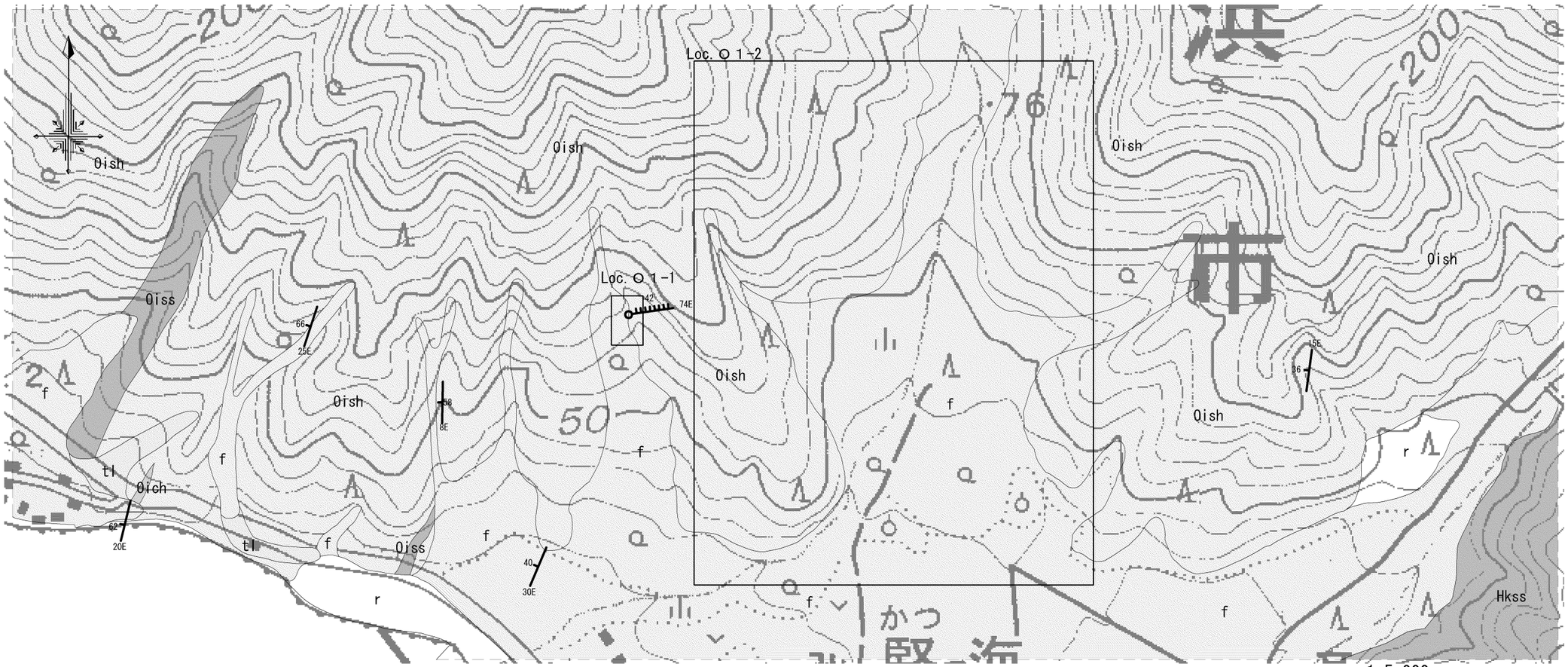
断面位置は第1.2.3.2.1図に示す。

第1.2.3.2.2図　敷地近傍の地質断面図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号　平27情複、第259号）」

第1.2.3.2.3図　敷地近傍の地形調査結果

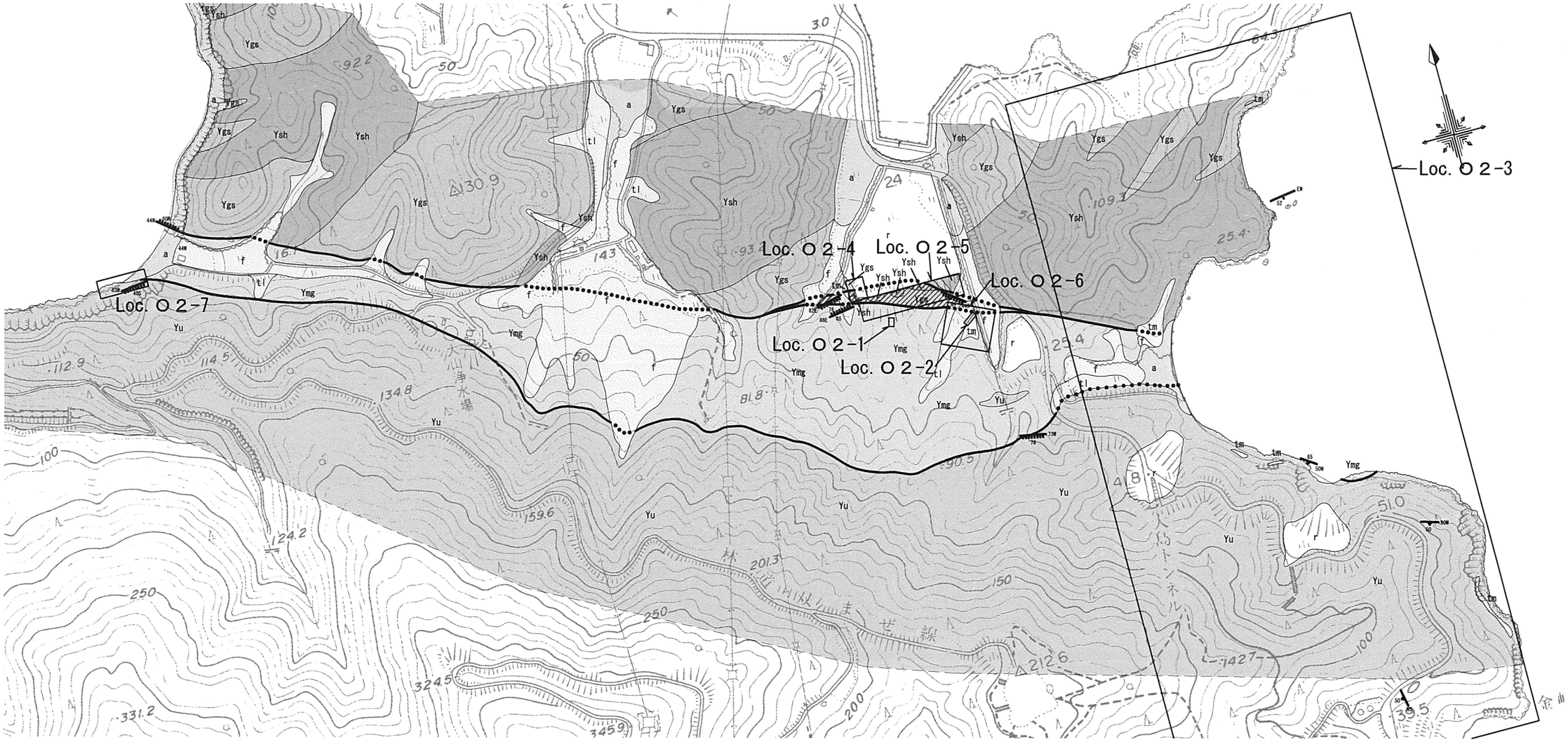


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号　平27情複、第259号）

凡　例

- 第四紀
  - 完新世
    - 人工改変地　r
    - 新期扇状地堆積物　f　礫、砂及び泥
  - 更新世 － 低位段丘堆積物　tl　礫、砂及び泥
- ペルム紀中～後期
  - 超丹波帯
    - 氷上層　Hkss　砂岩
    - 大飯層
      - Oiss　砂岩
      - Oish　頁岩
      - Oich　チャート
- 断層面の走向傾斜（偏角未補正）
- 層理面の走向傾斜（偏角未補正）
- Loc 詳細調査位置（ルートマップ、スケッチ等）
- 表示範囲

第1.2.3.2.4図　Ｏ１リニアメント周辺の地質図



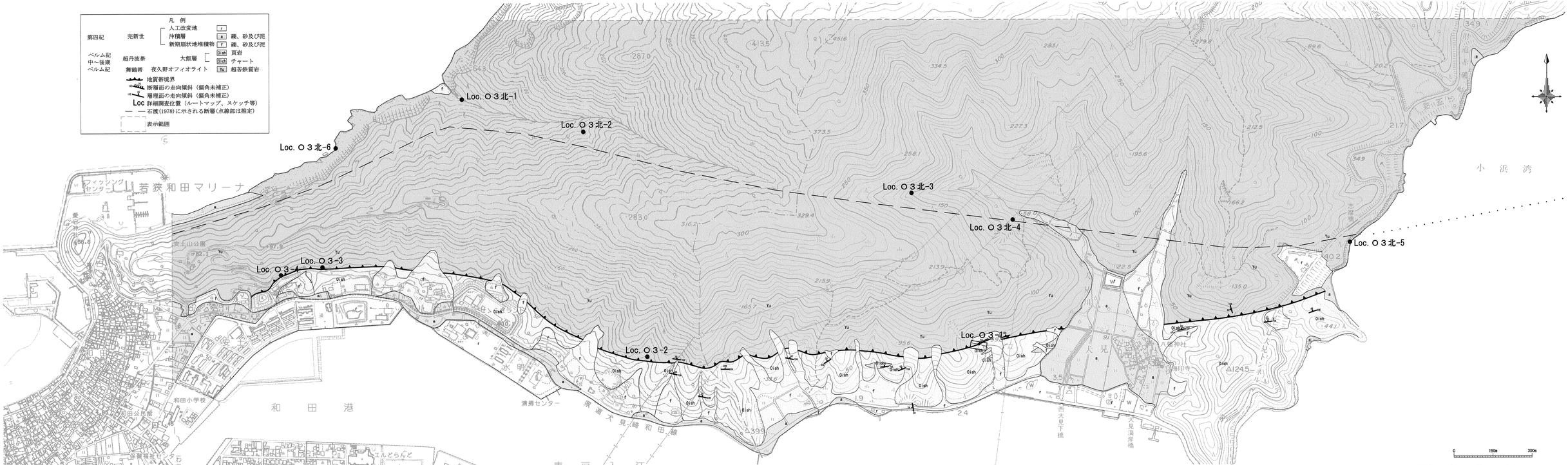
地形図には5千分の1大飯町 其ノ1、其ノ2(平成8年)を使用

凡　例

第四紀	完新世	人工改変地	r	
		沖積層	a	礫、砂及び泥
		扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
	更新世	低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
		中位段丘堆積物	tm	礫、砂及び泥
ペルム紀	舞鶴帯	大島層	Ysh	頁岩
		夜久野オフィオライト	Ygs	緑色岩類
			Ymg	変斑れい岩
			Yu	超苦鉄質岩

破砕帯（破砕された岩塊が混在）
断層（●●● ：伏在）
断層面の走向傾斜（偏角未補正）
層理面の走向傾斜（偏角未補正）
Loc 詳細調査位置（ルートマップ、スケッチ等）
表示範囲

第1.2.3.2.5図　Ｏ２リニアメント周辺の地質図



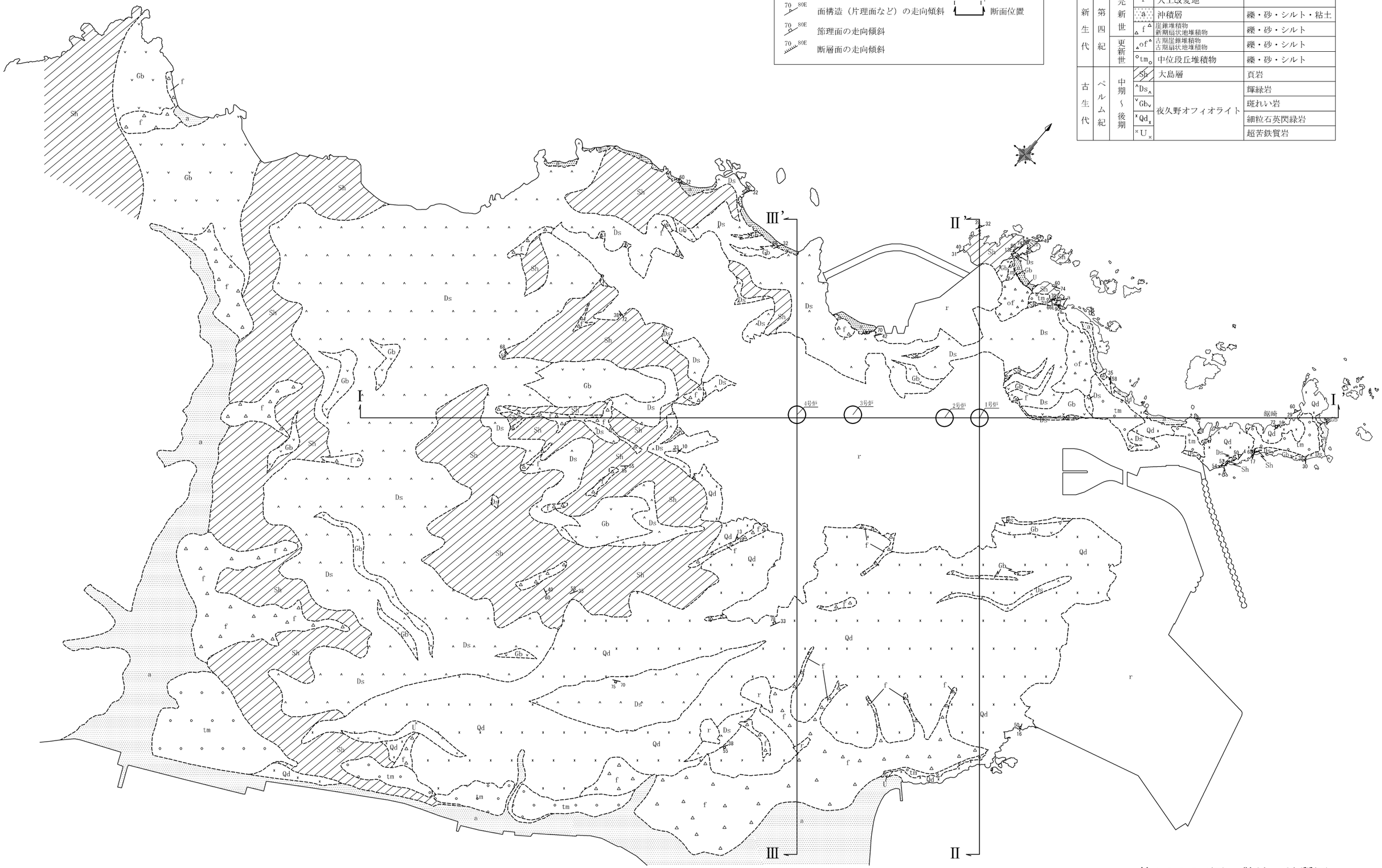
第1.2.3.2.6図　O３リニアメント周辺の地質図

記号凡例

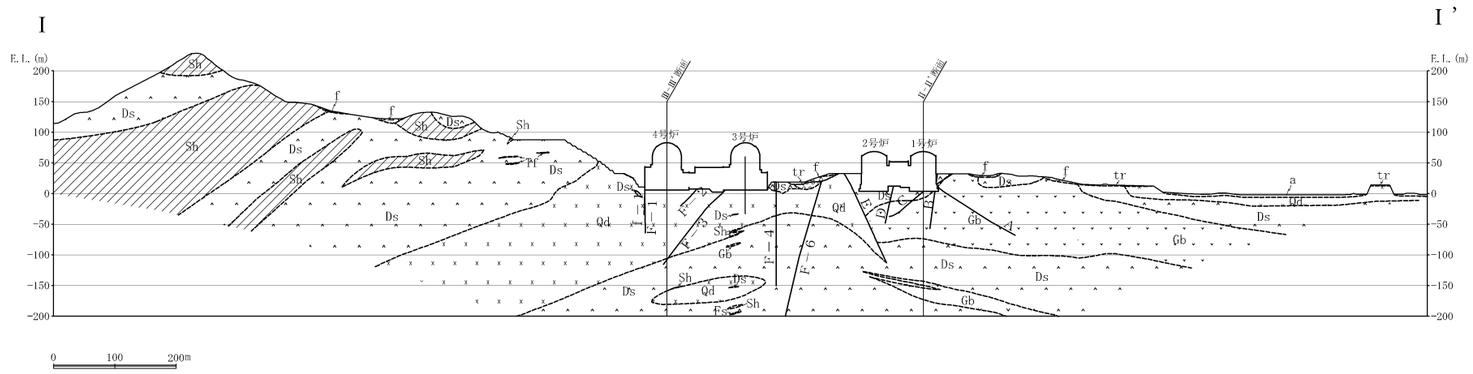
70 80E 地層（層理面）の走向傾斜	地質境界線
70 80E 面構造（片理面など）の走向傾斜	断面位置
70 80E 節理面の走向傾斜	
70 80E 断層面の走向傾斜	

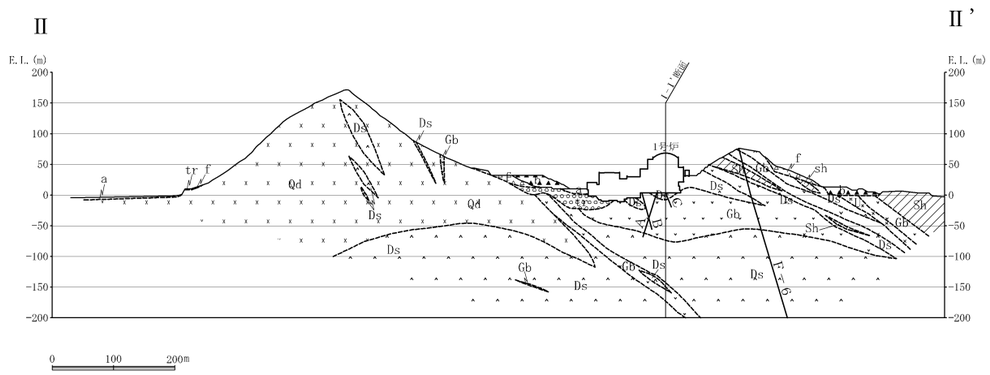
地　質　凡　例

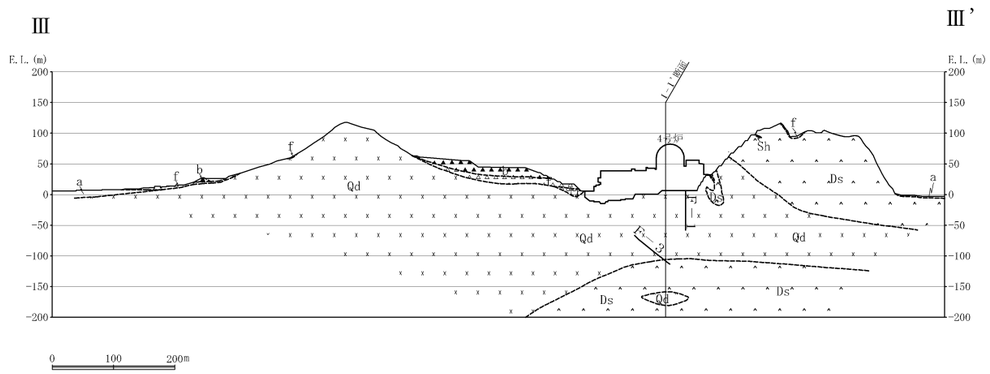
地質時代			記号	地質名等	主要構成地層
新生代	第四紀	完新世	r	人工改変地	
			a	沖積層	礫・砂・シルト・粘土
			f	崖錐堆積物 新期扇状地堆積物	礫・砂・シルト
		更新世	of	古期崖錐堆積物 古期扇状地堆積物	礫・砂・シルト
			tm	中位段丘堆積物	礫・砂・シルト
古生代	ペルム紀	中期～後期	Sh	大島層	頁岩
			Ds	夜久野オフィオライト	輝緑岩
			Gb		斑れい岩
			Qd		細粒石英閃緑岩
			U		超苦鉄質岩



第1.2.3.3.1図　敷地の地質図







凡　例

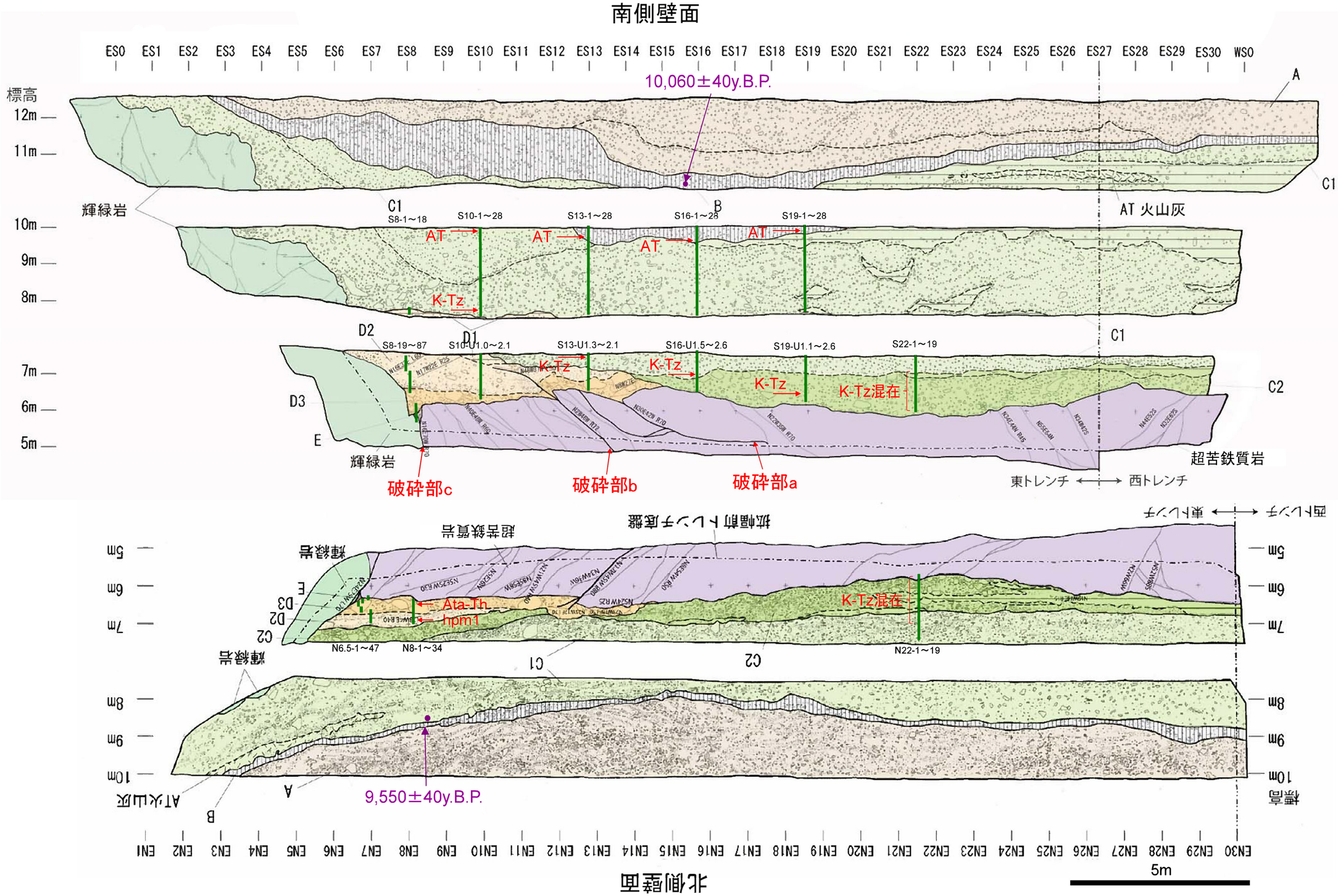
- b　盛土
- a　沖積層
- f　崖錐堆積物 新期扇状地堆積物
- tr　段丘堆積物
- Sh　頁岩
- Qd　細粒石英閃緑岩
- Ds　輝緑岩
- Gb　斑れい岩
- Fs　珪長岩
- U　超苦鉄質岩
- Tf　塩基性凝灰岩
- ---------- 地質境界線
- F－1 / A　破砕帯

※地質平面図で人工改変地(r)としている部分は、実際に分布する地質で表現した。

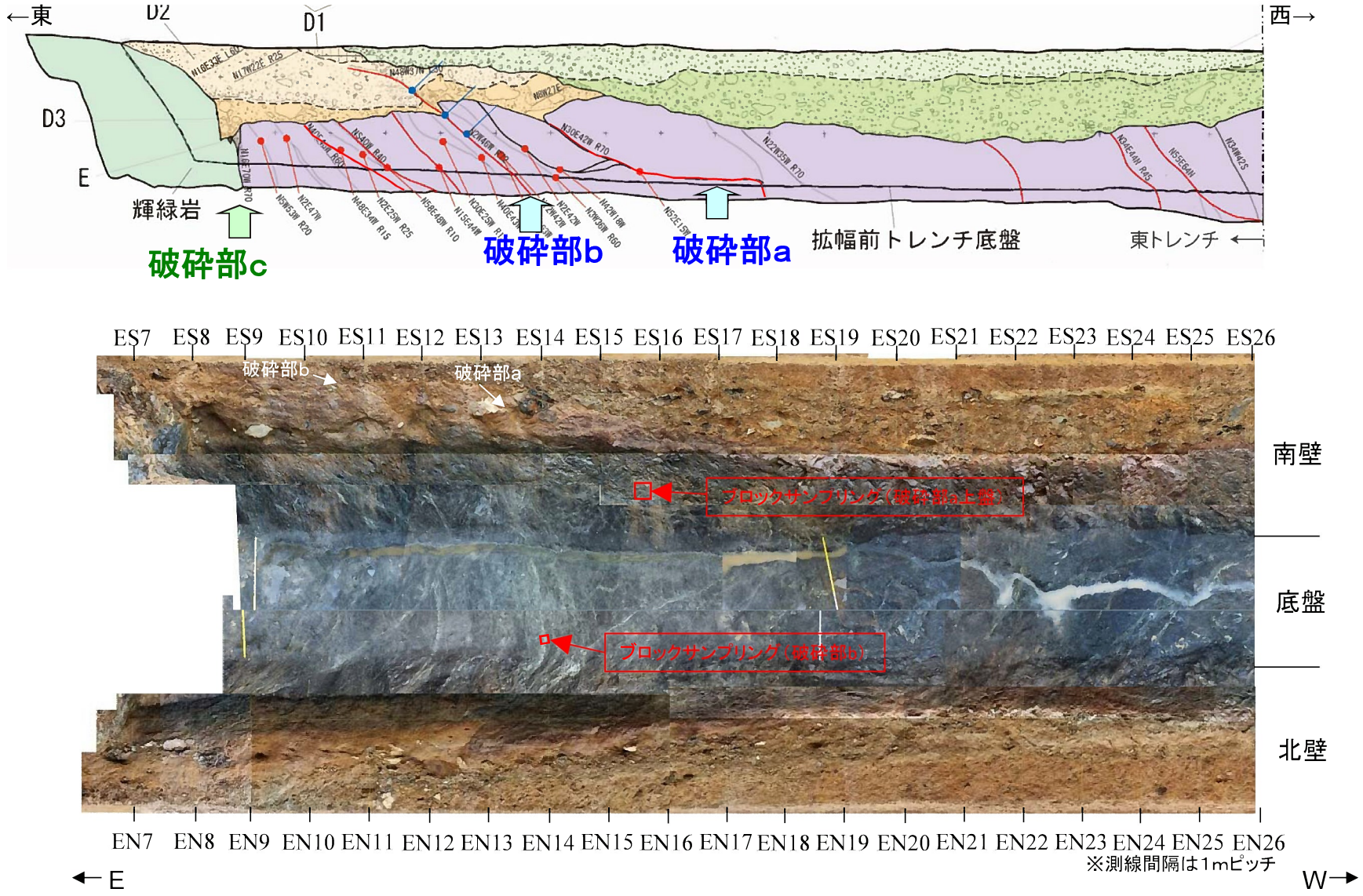
※断面位置は第1.2.3.3.1図に示す。

第1.2.3.3.2図　敷地の地質断面図

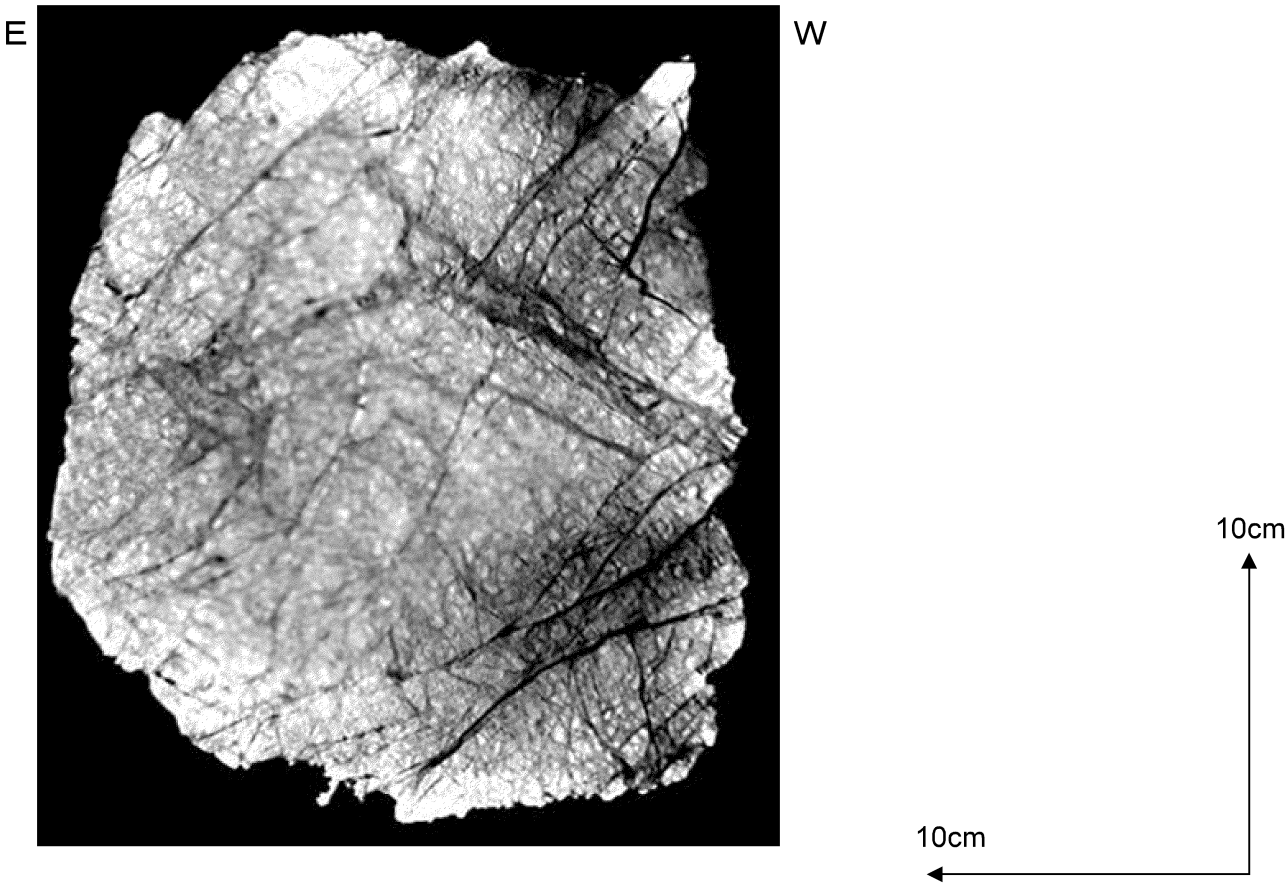
南側壁面



第1.2.3.3.3図　台場浜トレンチ壁面スケッチ（トレンチ東部）

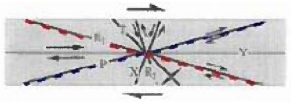


第1.2.3.3.4図　台場浜トレンチ破砕部a,b ブロックサンプリング位置



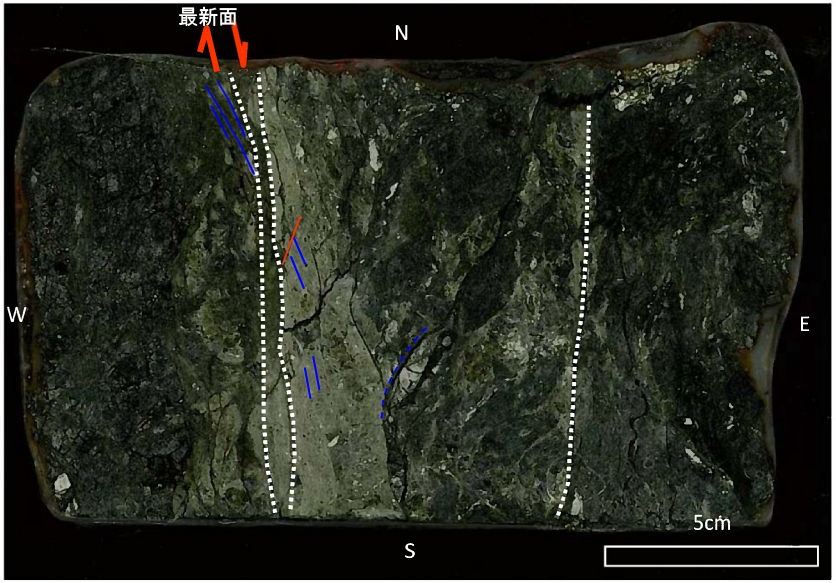
破砕部aの上盤のブロックサンプリングの結果は、全体として無構造の角礫状を呈し、明瞭な複合面構造は認められない。

第1.2.3.3.5図　台場浜トレンチ破砕部a 付近CT 画像解析結果



せん断センスを示す複合面構造
（狩野・村田、1998）[19]

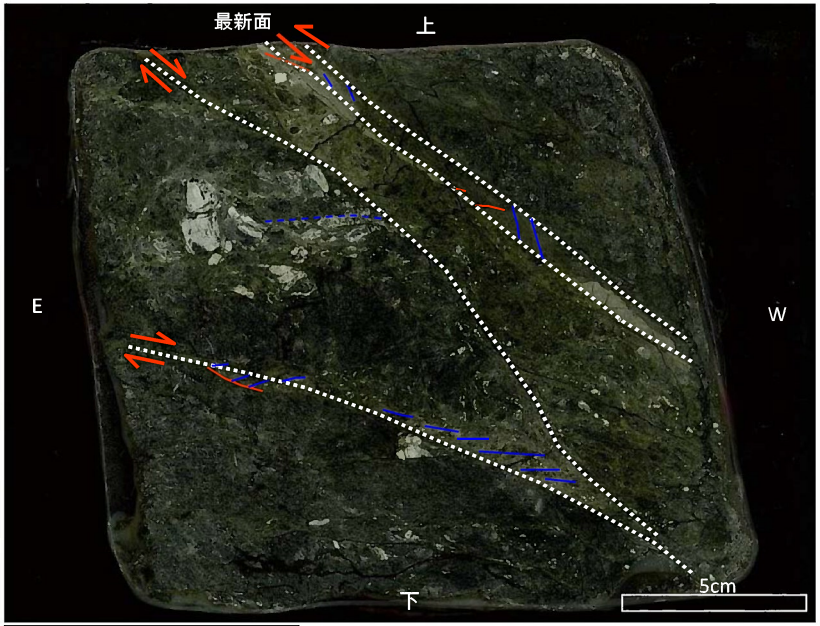
研磨片（横ずれ成分観察用）



Y面
R1面
P面
引きずり構造

研磨片観察結果
・主せん断面近傍で右横ずれ成分のR1面が認められる。
・せん断面周辺の引きずり構造により、左横ずれ成分を伴うと考えられる。

研磨片（縦ずれ成分観察用）



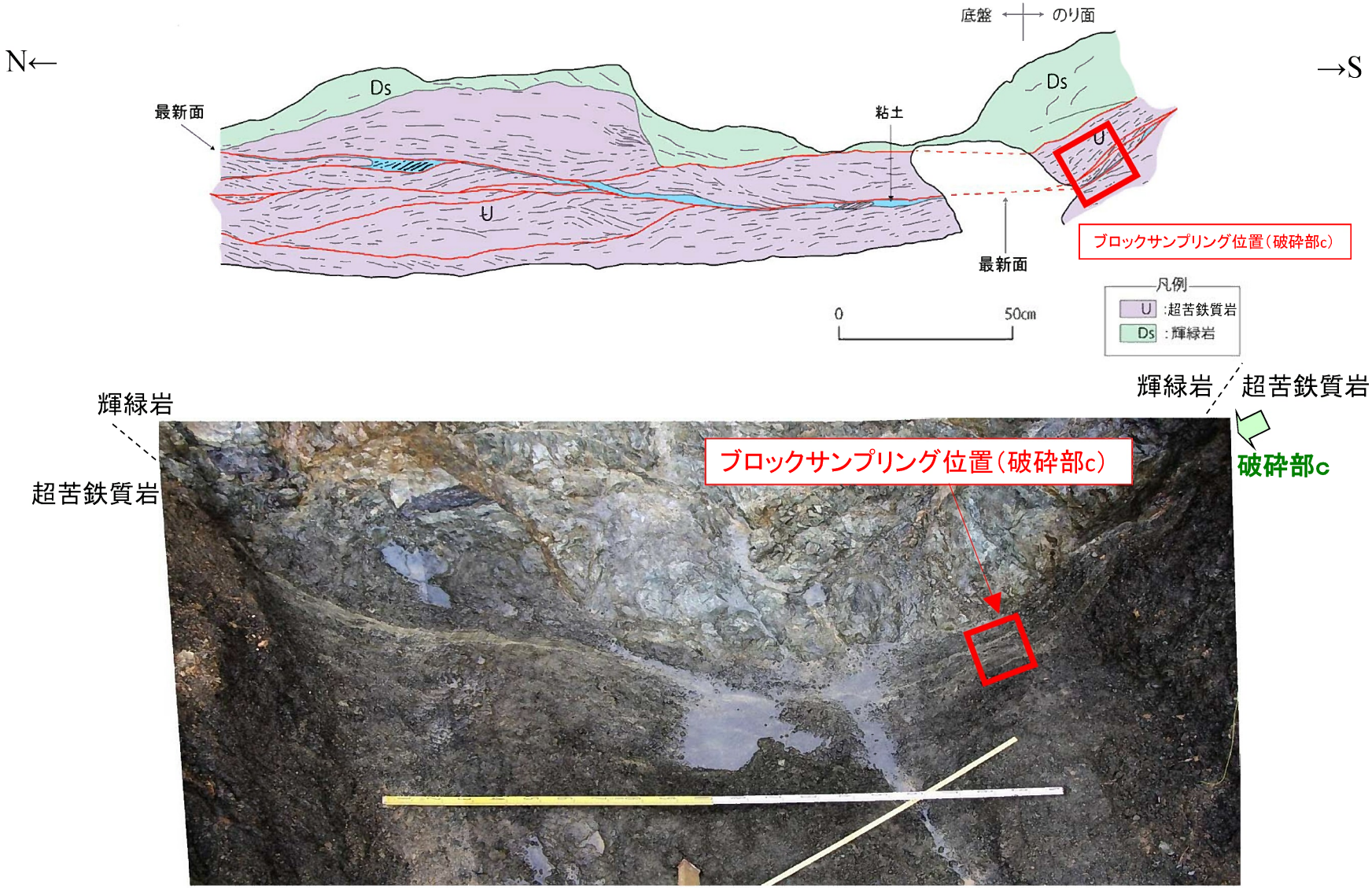
Y面
R1面
P面
引きずり構造

研磨片観察結果
・主せん断面近傍の複合面構造により、逆断層成分を伴うと考えられる。
・せん断面周辺では正断層成分を示す引きずり構造が認められる。

第1.2.3.3.6図　台場浜トレンチ破砕部b 研磨片観察結果



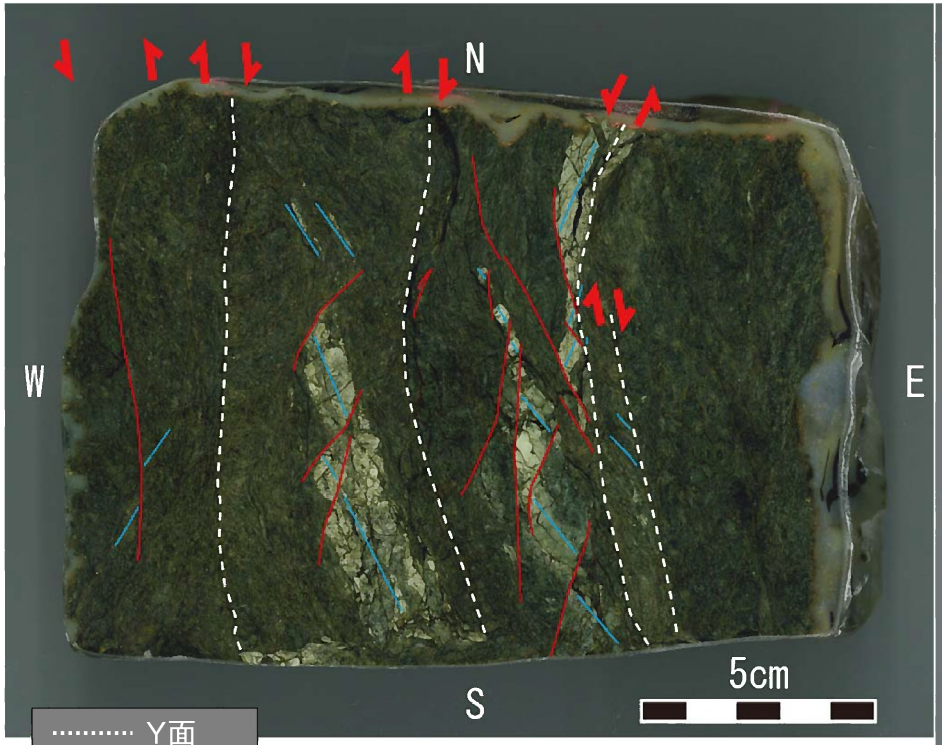
第1.2.3.3.7図　台場浜トレンチ東端付近写真



輝緑岩と超苦鉄質岩の境界は凹凸を有し、その分布は一部を除き破砕部と一致しない。
この地質境界付近の超苦鉄質岩中に湾曲した数条のすべり面（破砕部ｃ）が認められる。

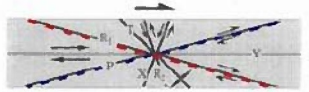
第1.2.3.3.8図　台場浜トレンチ東端付近底盤スケッチ

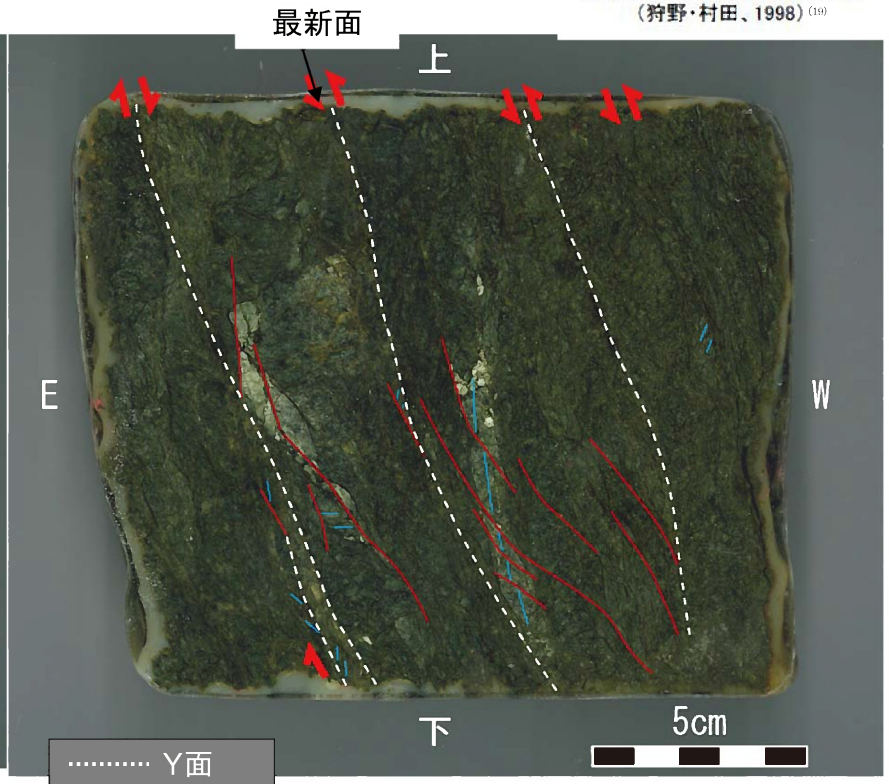
研磨片（横ずれ成分観察用）



研磨片観察結果
・黒緑色を呈し、角礫状に破砕された蛇紋岩化した超苦鉄質岩類からなり、一部に破砕された白緑色脈を挟む。
・P面及びR1面がみられ、右横ずれセンスを示す部分を主体とし、左横ずれセンスを示す部分も認められる。縦ずれ成分観察用研磨片中の最新面に対応するY面（図中央）沿いには右横ずれセンスを示すR1面が認められる。

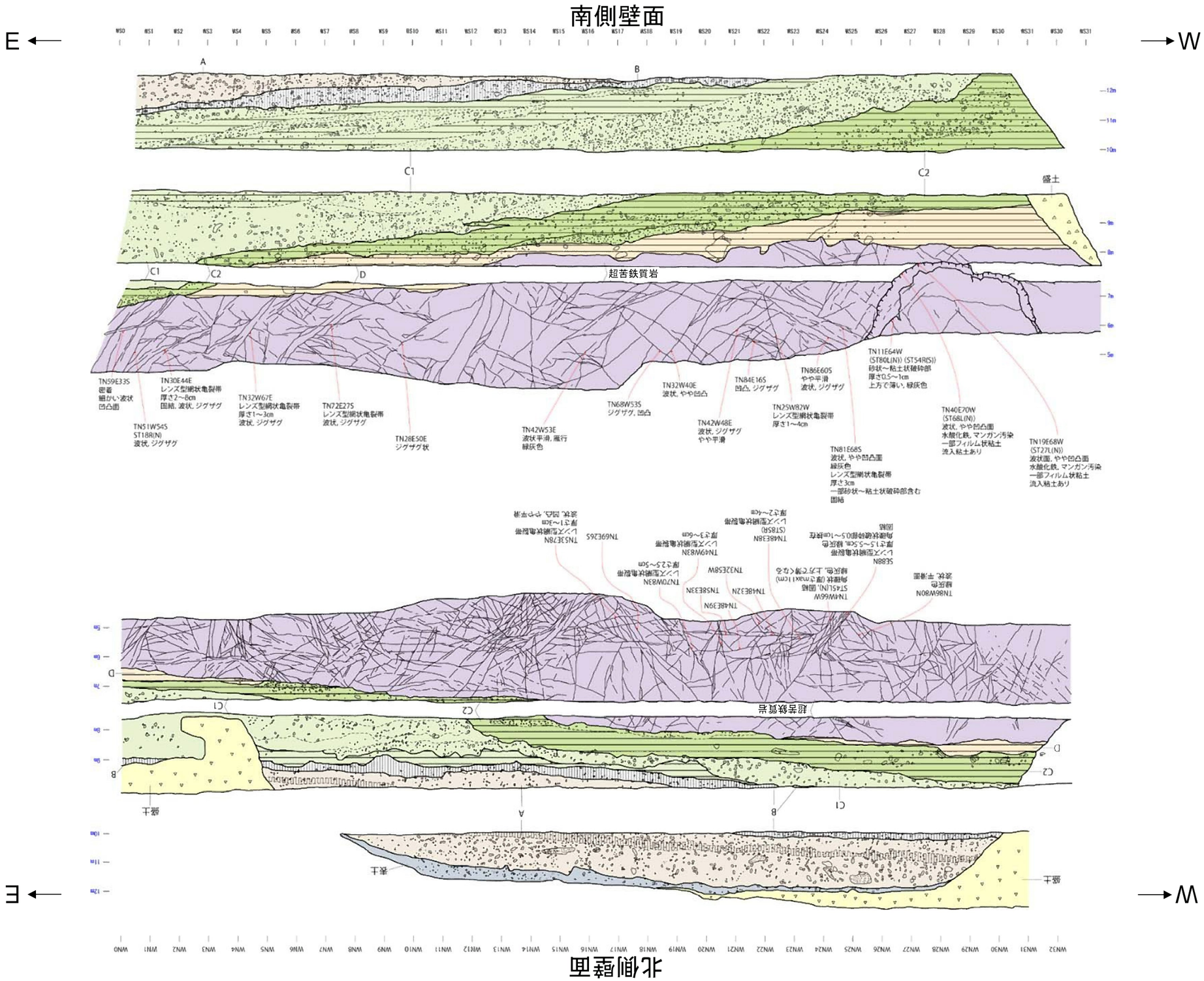
研磨片（縦ずれ成分観察用）



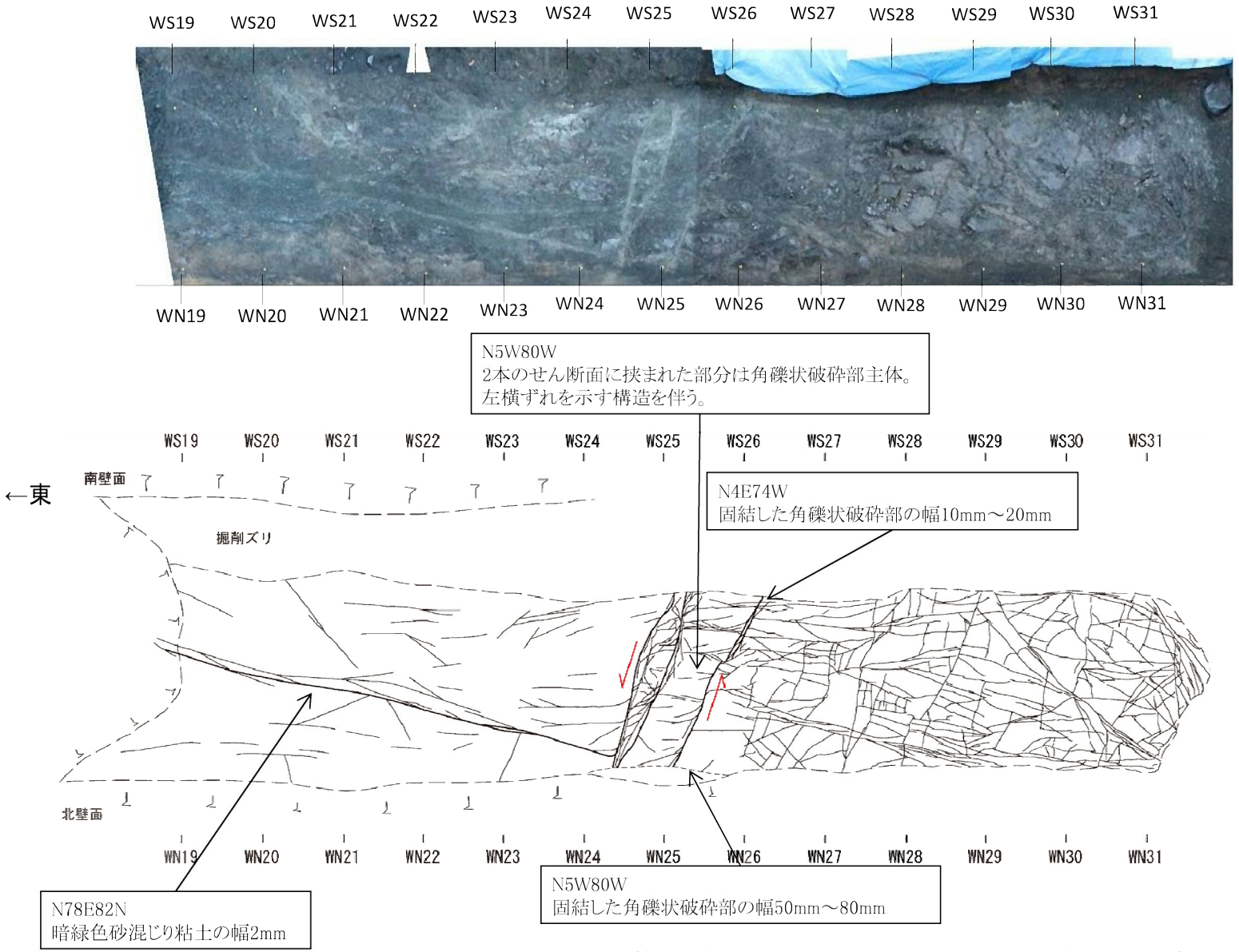


研磨片観察結果
・黒緑色を呈し、角礫状に破砕された蛇紋岩化した超苦鉄質岩類からなり、一部に破砕された白緑色脈を挟む。
・P面及びR1面がみられ、逆断層センスを示す部分を主体とし、正断層センスを示す部分も認められる。最新面に沿っては逆断層センスが認められる。

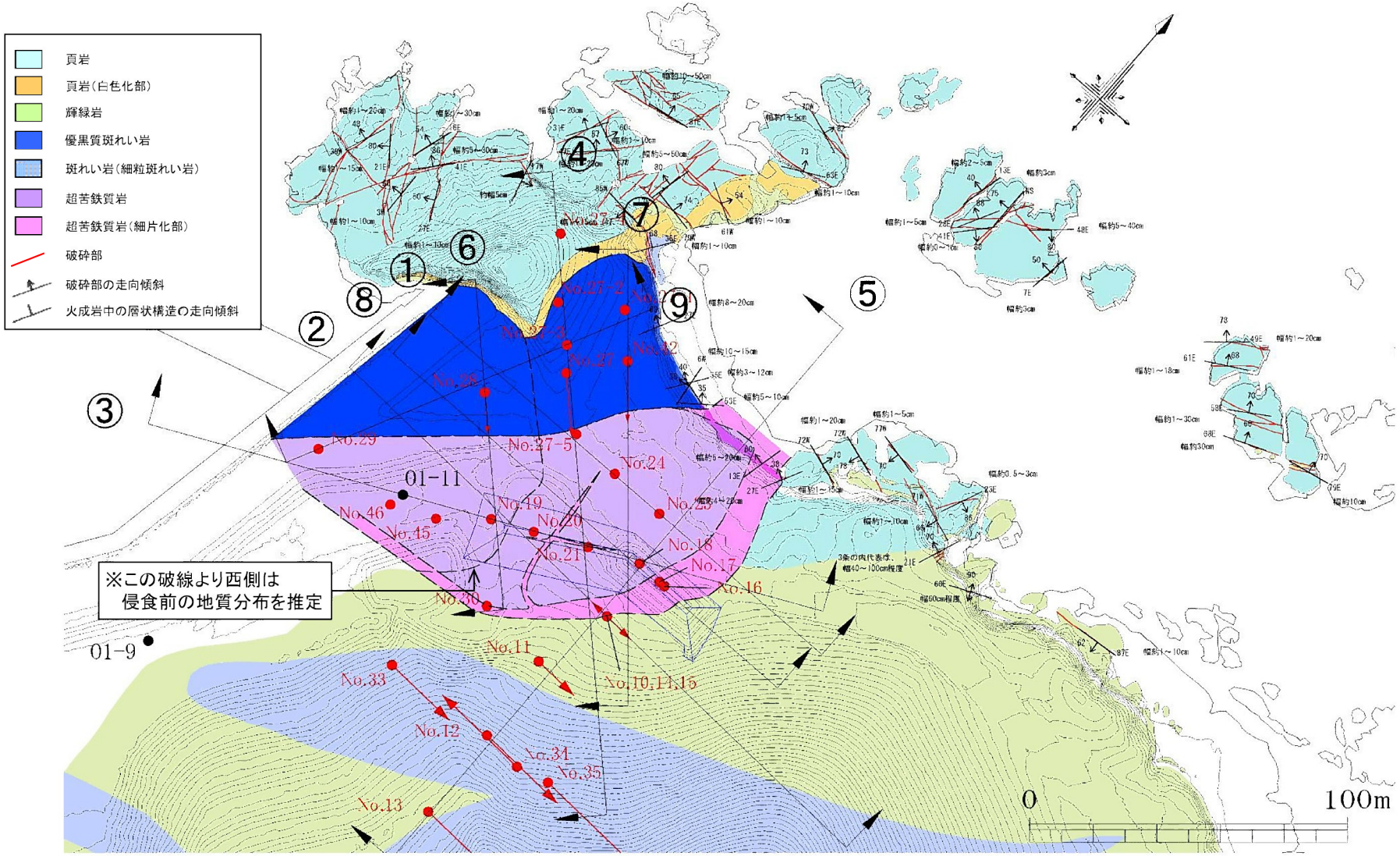
第1.2.3.3.9図　台場浜トレンチ破砕部c 研磨片観察結果



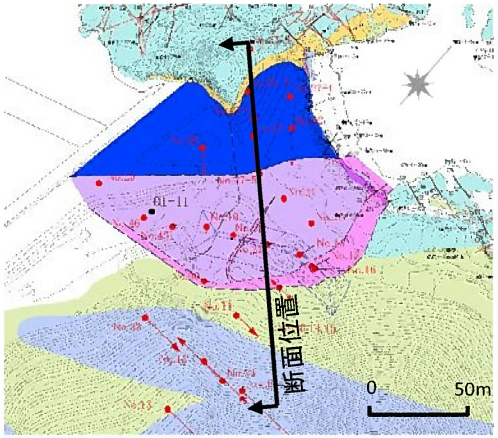
第1.2.3.3.10図　台場浜トレンチ壁面スケッチ（トレンチ西部）

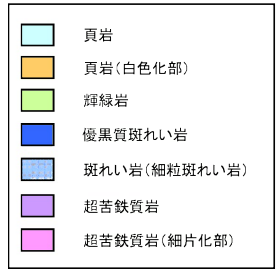


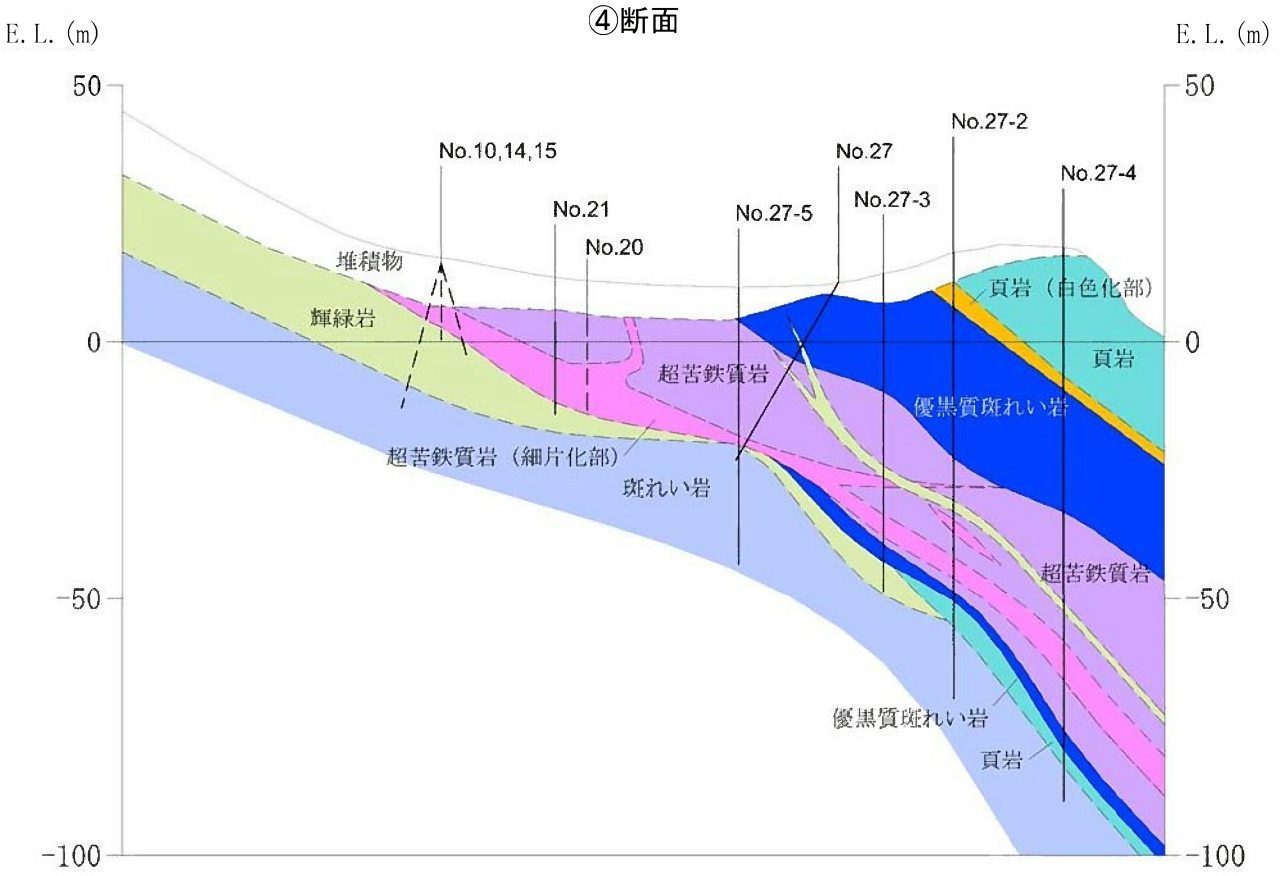
第1.2.3.3.11図　台場浜トレンチ底盤スケッチ（トレンチ西部）



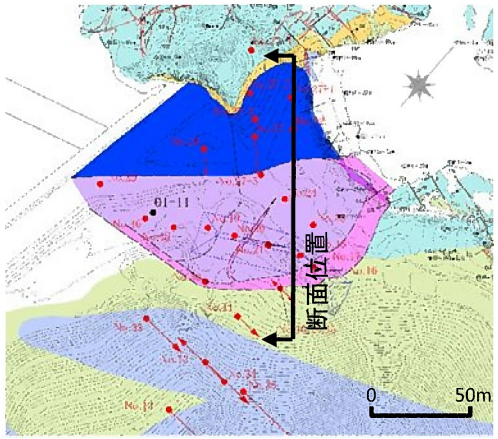
第1.2.3.3.12図　台場浜付近 地質分布図

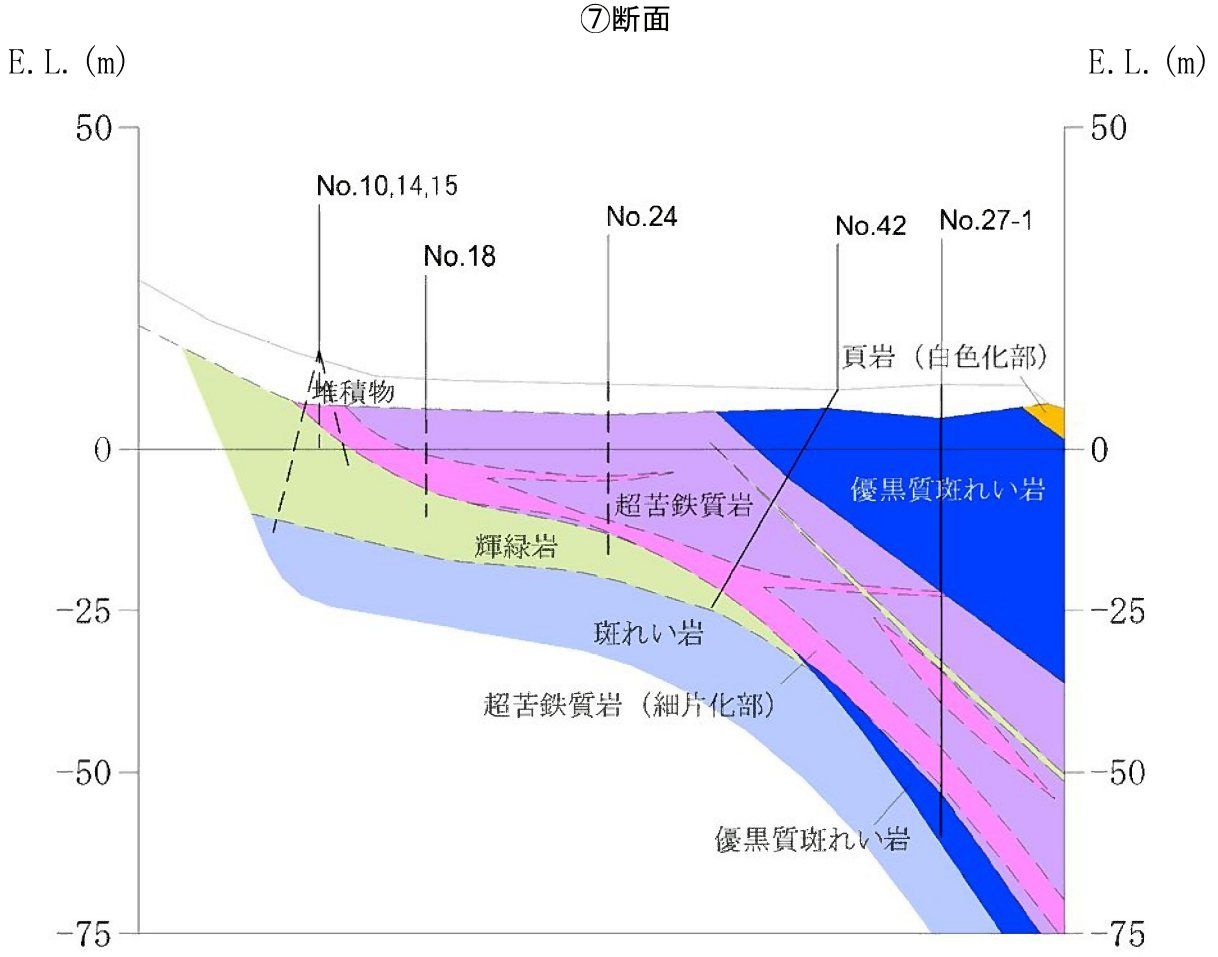


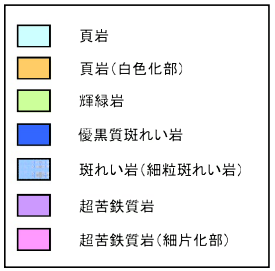




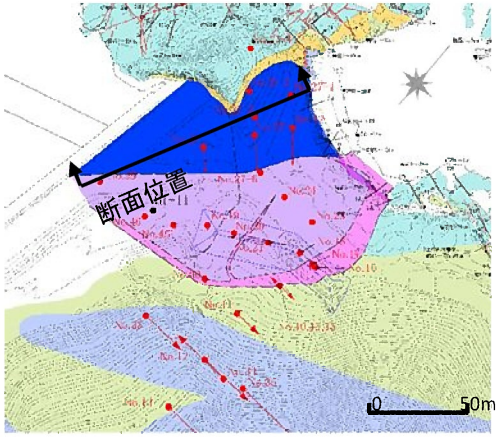
第1.2.3.3.13図(1)　台場浜付近地質断面図（④断面）

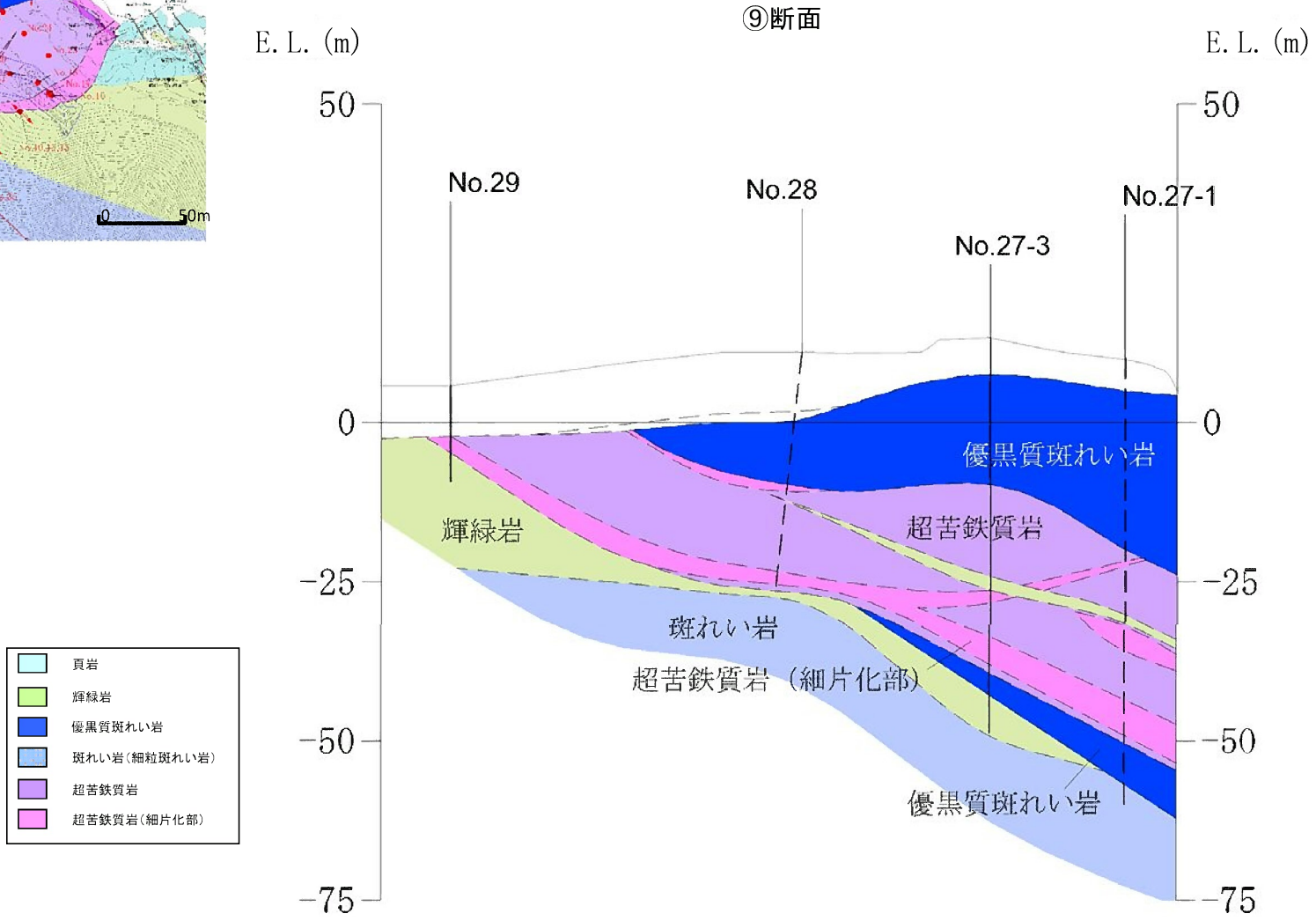




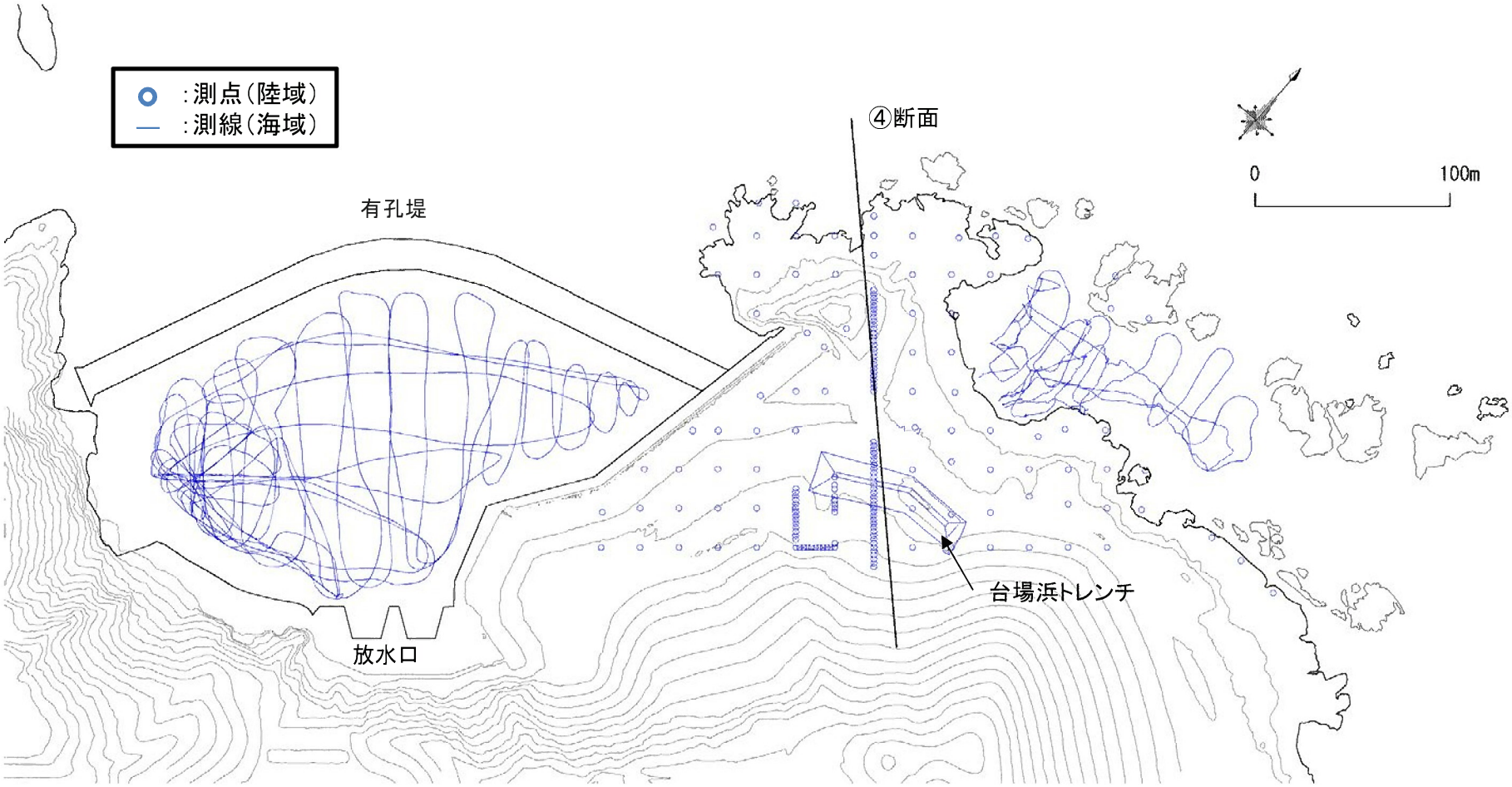


第1.2.3.3.13図(2)　台場浜付近地質断面図（⑦断面）

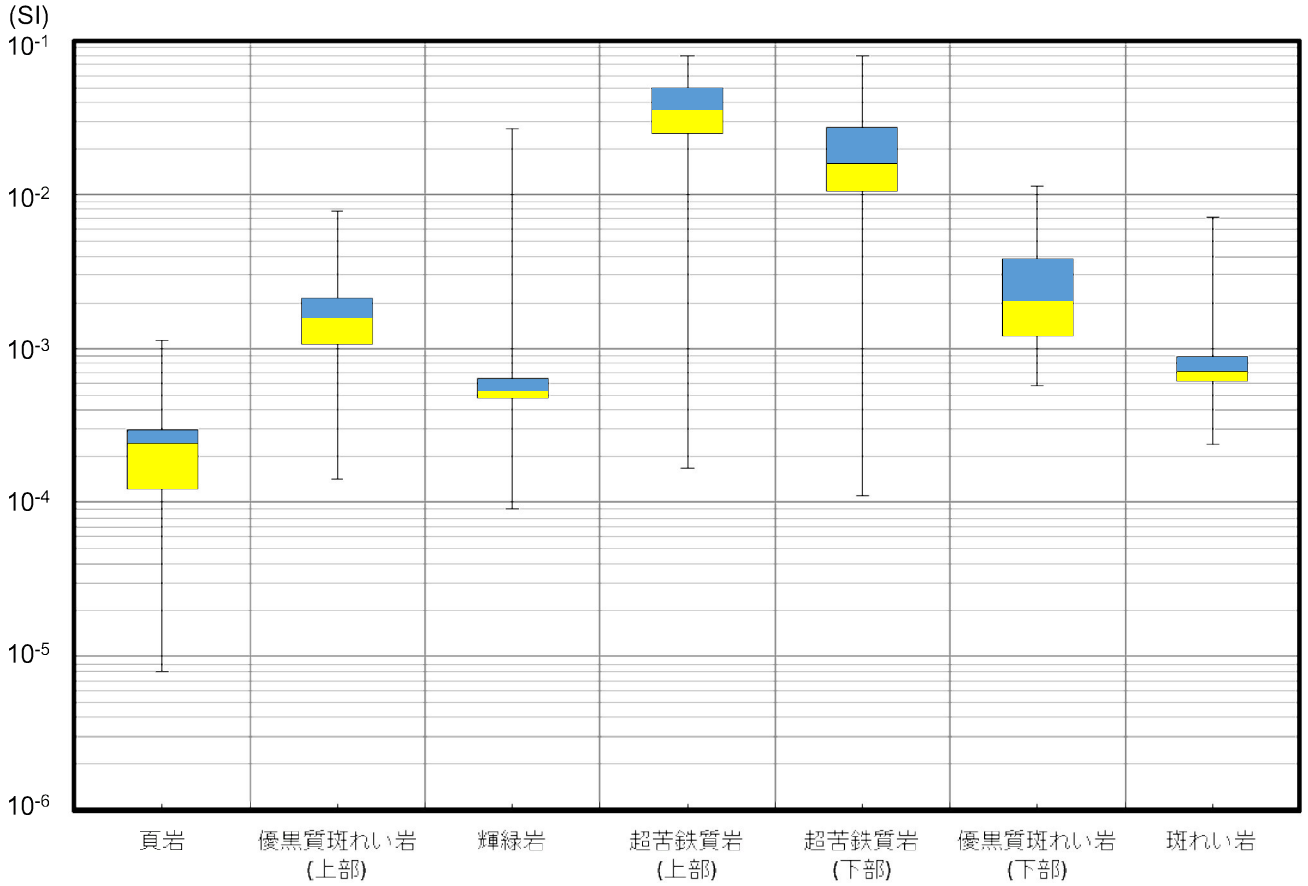




第1.2.3.3.13図(3)　台場浜付近地質断面図（⑨断面）

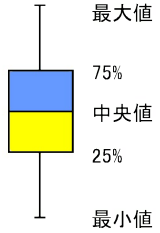


第1.2.3.3.14図　台場浜付近 磁気探査位置図



測定値数

頁岩	1897
優黒質斑れい岩（上部）	6196
輝緑岩	1162
超苦鉄質岩（上部）	2872
超苦鉄質岩（下部）	6376
優黒質斑れい岩（下部）	797
斑れい岩	2385



・台場浜周辺のボーリングのうち、No.27-1、No.27-2、No.27-3、No.27-4、No.27-5、No.27、No.42孔の帯磁率を用いて、地質ごとに帯磁率を取りまとめた。

・超苦鉄質岩は、挟在する輝緑岩より上部を「超苦鉄質岩（上部）」、下部を「超苦鉄質岩（下部）」と区分した。

・優黒質斑れい岩は、超苦鉄質岩の上位を「優黒質斑れい岩（上部）」、下位を「優黒質斑れい岩（下部）」とした。

第1.2.3.3.15図　台場浜付近 帯磁率測定結果